

## 各種膵炎・胆管炎における画像、血液検査、病理学的特徴と予後の検討

今回、京都府立医科大学では各種膵炎・胆管炎患者における各種血液検査、画像検査、病理学的検査の特徴および臨床経過の検討を実施いたします。そのため、当院で各種膵炎（急性膵炎、慢性膵炎、早期慢性膵炎、自己免疫性膵炎）・胆管炎の診断を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼり調査させていただきます。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### 研究の目的

急性膵炎は近年治療法の進歩により致死率は低下しているものの、重症症例はいまだに致死的な疾患です。また急性膵炎は一定の割合で慢性膵炎へ移行することが知られています。

慢性膵炎は不可逆な（一度慢性膵炎になると元に戻らない）病態ですが、可逆的なステージである早期慢性膵炎という病態が近年わが国で提唱され、その意義について現在様々な検討がなされています。慢性膵炎、早期慢性膵炎とも具体的な予後（病気がたどる経過や将来的な状態）については明らかではありません。

自己免疫性膵炎は上記の膵炎とは性質、治療法が異なります。治療後も一定の割合で膵炎の再発をきたすとされ、また長期的な膵機能低下をきたす可能性も否定できないとされており、こちらも具体的な予後について不明な点が多い疾患です。また胆管炎は上記膵疾患とも密接に関連している疾患です。

本研究では当院にて診断を行った上記各種膵炎・胆管炎症例の画像的、病理学的特徴およびそれに対する各種治療法（無治療経過観察含む）、またそれらの予後・自然史を検討することで、今後の各種膵炎・胆管炎に対する診断や治療方針の決定の一助となることが期待されます。

### 研究の方法

・対象となる方について

2008年1月1日から2022年11月30日までに当院にて各種膵炎・胆管炎と診断された方を対象としております。

- ・研究期間：医学倫理審査委員会承認後から2022年11月30日まで
- ・方法：当院にて各種膵炎・胆管炎と診断された方について診療録（カルテ）より以下の臨床情報を収集いたします。

- ・研究に用いる情報について

- ◇患者背景情報

年齢、性別、身長、体重、並存疾患、既往歴、家族歴、飲酒・喫煙歴等

- ◇検査データ

- ・血液、尿検査

（血算や肝機能、腎機能といった一般検査項目、ホルモン値等）

- ・CTやMRIなどの画像所見

- ・超音波内視鏡下吸引穿刺生検（EUS-FNAB）などによって採取した病理所見

- ◇治療内容（入院歴や外科治療が行われた方は術後病理診断を含む）

- ◇その後の経過（病状悪化の有無等）

直接患者御本人への調査票、質問票などを用いた新たな調査は行いません。得られたデータは個人を特定されないよう匿名化して総合的な検証が行われます。

- ・個人情報の取り扱いについて

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定される情報を使用することはありません。

### 研究組織

（実施責任者）	消化器内科学	准教授	保田 宏明
（実施担当者）	消化器内科学	客員講師	阪上 順一
	消化器内科学	講師	十亀 義生
	消化器内科学	助教	三宅 隼人
	消化器内科学	大学院生	高田 智規
	消化器内科学	大学院生	小山 友季
	消化器内科学	大学院生	澤井 裕貴
	消化器内科学	大学院生	竹村 圭祐

消化器内科学

大学院生

山根 慧己

## 問い合わせ先

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2022年11月30日までに下記連絡先までご連絡ください。ご本人様だけでなく代理人の方の申し出でも対応させていただきます。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。研究期間中（2022年11月30日まで）はいつでも不利益を被ることなく研究参加を拒否することができます。ただし、研究参加拒否の申し出があった時点で既に研究結果が論文などで公表されていた場合などのように、検査結果を廃棄することができない場合があります。ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学

職・氏名： 准教授・保田 宏明（やすだ ひろあき）

電話：075-251-5519